



Around50からGrace Age前半に聞いた 「10年後の暮らし、マネープランについてのアンケート」まとめ①

Around50（46歳～55歳）からGrace Age前半（56歳～65歳）女性に、セカンドライフを見据えた10年後の暮らし、マネープランについて聞いた。

＜現在の家計の状況と今後の収入予測、何歳まで働きたいか＞【P 5-7】

現状、**40代後半、50代前半は、教育費、住宅ローンの負担がまだまだ大きく、50代後半、60代前半では、住宅設備メンテナンス、医療費の負担増が上位**に来るようになる。

現時点での自身の公的年金の受給予定金額については、年金定期便のおかげもあり、半数以上が把握。夫の年金受給予定金額を把握している率は自身の分に比べて1割ほど少なくなる。

退職金は、パート・アルバイト勤務者が多いため「なし」の回答が8割。夫の退職金金額については「なんとなく」も含め把握しているのは、50代前半で29.4%、50代後半で23.2%と低め。

何歳まで働き続けたいか、自身についてと夫についてを聞いたところ、自身は60歳までと65歳までが3割～4割ずつ。夫には、65歳まで働いてほしいが4割。夫にはなるべく長く働いてほしいのが本音。**60代前半になると、70歳まで働きたいが自身36.1%、夫40.7%と他の世代に比べて高い**。元気で健康であるともいえるが、フリーアンサーでは、働けるうちは働いて貯金したいという切実な声も。

＜10年後、家計の支出配分＞【P 8】

10年後、家計における「生活費」「趣味・楽しみ」「貯金」の配分を聞いたところ、**「貯金」よりも生活や趣味のウェイトが少しずつ増えてくるのは、60代に入ってから**。とはいえ、これはあくまで理想で、実際には生活費に追われそうという予想が総ての年代で6割を超えている。

＜10年後の家計についての心配、検討状況とその対策＞【P 9-10】

10年後の家計については、**9割以上が何かしらの心配を抱えており、その内容は、当然のことながら年代によって特徴が異なる**。

40代後半は、収入減、医療費増がトップ2だが、他の世代に比べて、教育費や親の面倒を見ることへの不安も大きい。

50代前半は、収入減が目前に迫ってくることもありトップ。医療費の出費増への不安も5割超。

50代後半は同前半との差異は少ないが、自分や夫の介護費用への不安が増え始める世代。

60代前半にとっての不安のトップは医療費の出費増。また住宅設備メンテナンスなどの出費増が6割近いのが他の世代と比較して特徴的。

10年後の家計については、6割近くが「ある程度は考えている」と回答しているが、「詳しく計算したことがある」は2.9%に留まっている。年代別で見ると、**40代後半では「ある程度は考えている」が5割を切っているが、年代があがるにつれ上昇。50代後半から6割台とグッと増加する**。

将来に向けての家計の見直しは、全体では59.1%が「今のところ何もしていない」。年代があがるにつれ、特に50代後半からは、やや真剣に見直す傾向が見られる。



Around50からGrace Age前半に聞いた 「10年後の暮らしについてのアンケート」まとめ②

＜リタイア後の老後資金予測、親の遺産相続について＞ 【P11】

老後資金は、40代後半はまだ「予想がつかない」が3割超。現実味を帯びてくる60代前半になると「あまり余裕がない」が4割をしめる。

親の遺産は「少しアテにしている」が全年代で2割台。6割～7割は「アテにしていない」と回答しており、世代での違いはほとんど見られない。

＜10年後の家計についての検討状況×リタイア後の老後資金予測＞ 【P12】

46歳～60歳までを、10年後の家計事情を「全く考えていない人」と「ある程度考えている人」に分け、リタイア後の資金をどのように予測しているかを比較してみた。

「全く考えていない人」は全般的に「全く余裕がない」「予想がつかない」が多い傾向にあるのに対し、「ある程度考えている人」は「まあ、余裕がある」「あまり余裕がない」が高く、「全く余裕がない」「予想がつかない」は低くなっている。**「全く考えていない」層は、状況が把握できないままに「余裕がない」「予想がつかない」という、漠然とした大きな不安に襲われている**のではないだろうか。

＜リタイア後、夫婦2人の住まいについて＞ 【P13】

リタイア後の住まい方について聞いたところ、全体で71.8%が「現状のまま」と回答。リタイアが近くなる年代になるにつれ、将来設計が現実的になることもあり、「現状のまま」は増加する。

住み替えたい人の希望条件は、「買い物が便利」「駅に近い」「マンション」と利便性がトップ3。

＜セカンドライフの資金計画について知りたいこと＞ 【P14】

セカンドライフの資金計画について知りたいことのトップは、「必要な貯蓄・資産額」「生活費がいくらかかるか」。60代前半になると、「介護や本格的な老後生活にかかる費用」が3分の1を超える。

＜セカンドライフの資金計画について専門機関への相談＞ 【P15】

セカンドライフの資金計画について、**相談したことはないが9割以上**。目前に迫ってきている60代前半でも94.9%。相談したことがない人たちの約半数は「相談したくない・する必要がない」としており、相談するなら「独立系ファイナンシャルプランナー・セミナー」が約4分の1。

全般的にリタイア時にいくら貯蓄があればいいのか、その後の生活費はどのくらいかかるのかを知りたいと思っており、老後の資金もあまり余裕がないと感じていながら、専門機関への相談には、二の足を踏んでいる実態がある。

＜老後の生活への夢や希望、不安 フリーアンサー抜粋＞ 【P16-20】

思い描く老後生活をフリーアンサーで記述してもらったところ、夢や希望で頻出するキーワードは

①子どもに迷惑をかけたくない ②子ども世帯とはつかず離れずの近さで暮らしたい ③国内、海外を問わず旅行を楽しみたい ④利便性のいい所に住み替えたい
一方、**不安面では、「健康に過ごせるかどうか」が圧倒的**。具体的には「健康に過ごせれば金銭的に問題ないが、大病をしたら資金難に陥りそう」という声が多い。そんな**不安対策のためにも、生活習慣・食習慣を見直す、運動をするなど、健康寿命を意識する声も散見される。**



■ 設問

- Q 1 現在、あなたの家庭の家計で負担が大きい支出項目を選んでください。
- Q 2 現時点での、あなた自身の公的年金の受給開始時期、受給予定金額を把握していますか？
- Q 3 仕事をしている方にうかがいます。あなた自身の退職金はいくらになるか把握していますか？
- Q 4 仕事をしている方にうかがいます。仕事は何歳まで続けようと思っていますか？
- Q 5 夫がいる方にうかがいます。現時点での、夫の公的年金の受給開始時期、受給予定金額を把握していますか？
- Q 6 夫がいる方にうかがいます。夫の退職金はいくらになるか、把握していますか？
- Q 7 夫がいる方にうかがいます。夫には何歳まで仕事をしてもらいたいと考えていますか？
- Q 8 10年後、あなたの家庭の家計全体を10とした時、「生活費（教育費など子供関連を含む）」「自分や夫の趣味・楽しみ」「貯金」はどのような配分にしたと思いますか？
- Q 8-1 上記で答えた配分は、実際にはどうなっていると思いますか？
- Q 9 今後10年の家計を考えたとき、心配なことは何ですか？
- Q 10 10年後のあなたの家庭の家計事情（収入予測、支出予測、貯金・資産額予測）について、考えたことはありますか？
- Q 11 将来に向けて、家計の見直しを実施していますか？

Q 12 リタイア後の老後資金はどのような状況ですか？

Q 13 親の遺産相続をアテにしていますか？

Q 14 夫がリタイアして夫婦二人の生活になったら、住まいはどうしたいと思いますか？

Q14-1 住み替えたい方に伺います。その際条件に考えるのはどんなことですか？

Q 14 セカンドライフに向けての資金計画について知りたいことを優先順位順に3つまで選んでください。

Q 15 セカンドライフの資金計画について、専門機関に相談したことはありますか？

Q 16-1 相談したことがある方にうかがいます。どこに相談しましたか？

Q 16-2 相談したことがない方にうかがいます。どこかに相談したいと思いますか？

Q 17 自分たちの老後の生活はどんなふうに思い描いていますか？ 夢や希望、不安も含めて具体的に書いてください。

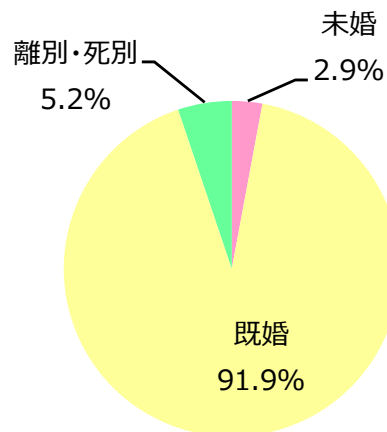


■ 回答者プロフィール

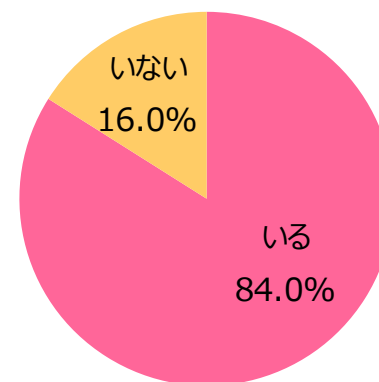
【年 齢】

	n
46歳～50歳	237
51歳～55歳	248
56歳～60歳	133
61歳～65歳	99
全体	717

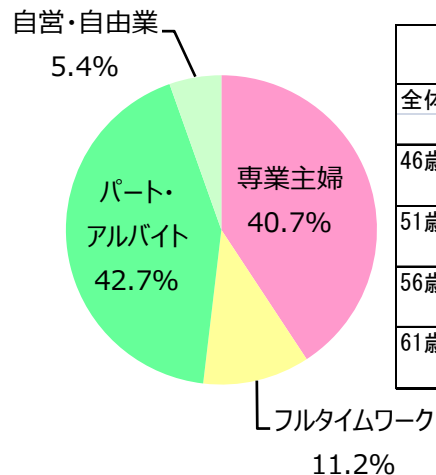
【結 婚】



【子どもの有無】



【働き方】



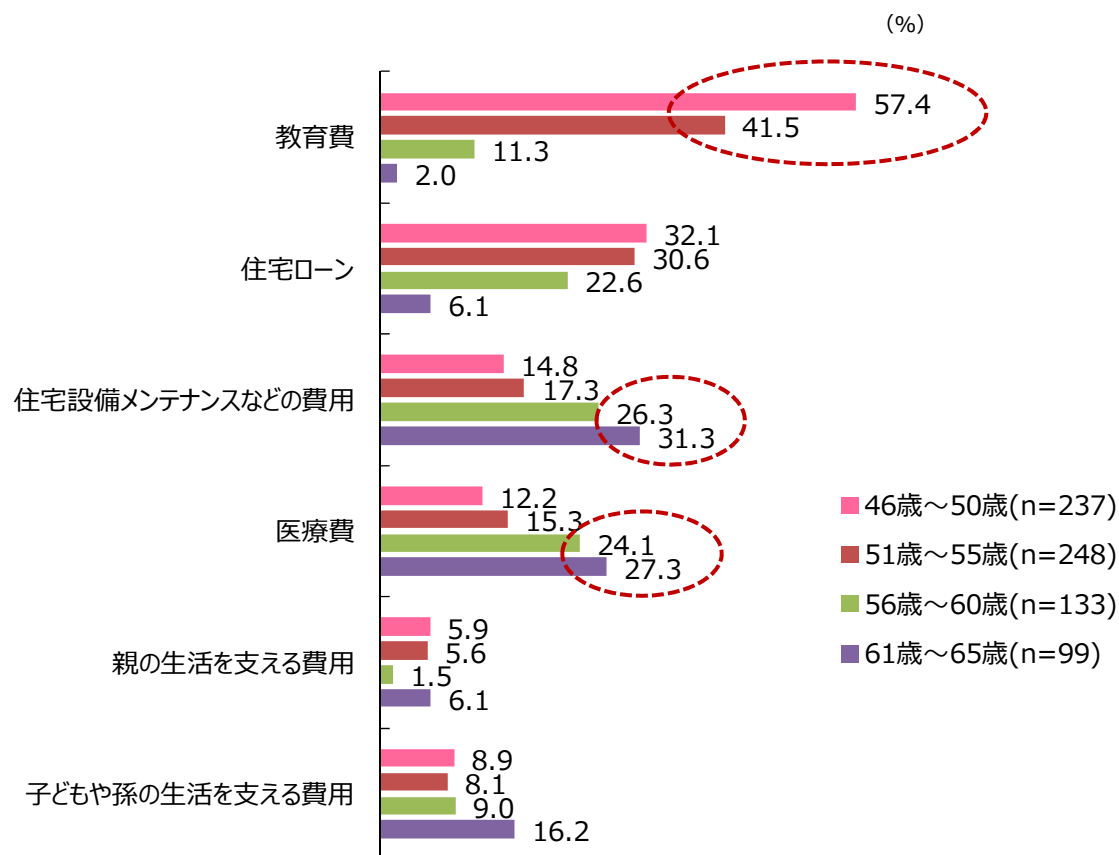
	合計	専業主婦	フルタイムワーク	パート・アルバイト	自営・自由業
全体	n 717	292	80	306	39
	% 100.0	40.7	11.2	42.7	5.4
46歳～50歳	237	88	33	105	11
	100.0	37.1	13.9	44.3	4.6
51歳～55歳	248	80	34	120	14
	100.0	32.3	13.7	48.4	5.6
56歳～60歳	133	61	12	54	6
	100.0	45.9	9.0	40.6	4.5
61歳～65歳	99	63	1	27	8
	100.0	63.6	1.0	27.3	8.1

【居住地】

	n	%		n	%
宮城県	20	2.8	滋賀県	5	0.7
福島県	7	1.0	京都府	25	3.5
栃木県	5	0.7	大阪府	90	12.6
埼玉県	35	4.9	兵庫県	89	12.4
千葉県	68	9.5	和歌山県	3	0.4
東京都	184	25.7	岡山県	4	0.6
神奈川県	116	16.2	広島県	7	1.0
石川県	4	0.6	香川県	6	0.8
静岡県	4	0.6	愛媛県	1	0.1
愛知県	14	2.0	福岡県	14	2.0
三重県	1	0.1	熊本県	6	0.8
			鹿児島県	9	1.3
			全体	717	100.0



Q 1. 現在、あなたの家庭の家計で負担が大きい支出項目



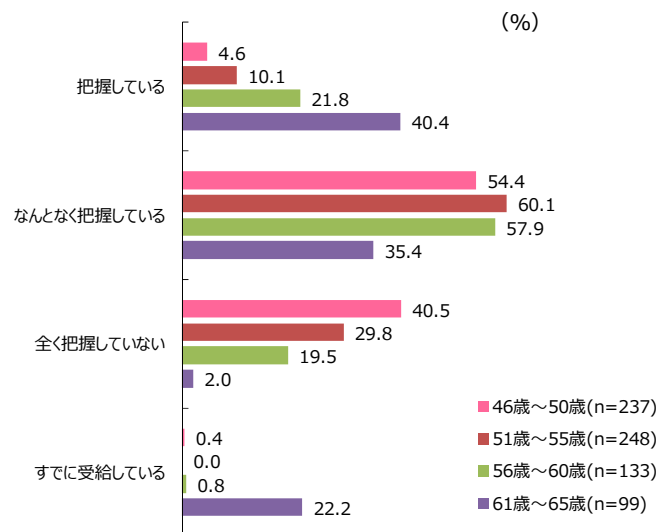
◆現状、家計で負担の大きい項目を聞いた。
40代後半、50代前半では、教育費、住宅ローンの負担がまだまだ大きい

◆50代後半、60代前半では、住宅設備メンテナンス、医療費の負担増が上位に来るようになる。

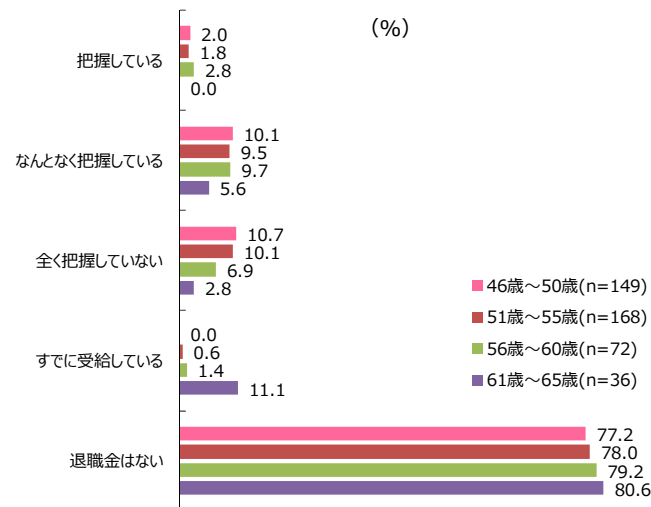
	n	教育費	住宅ローン	住宅設備メンテナンスなどの費用	医療費	親の生活を支える費用	子どもや孫の生活を支える費用	該当するものはない
全体	717	35.7	26.2	20.1	17.6	5.0	9.6	24.4
46歳～50歳	237	57.4	32.1	14.8	12.2	5.9	8.9	16.5
51歳～55歳	248	41.5	30.6	17.3	15.3	5.6	8.1	22.2
56歳～60歳	133	11.3	22.6	26.3	24.1	1.5	9.0	32.3
61歳～65歳	99	2.0	6.1	31.3	27.3	6.1	16.2	38.4



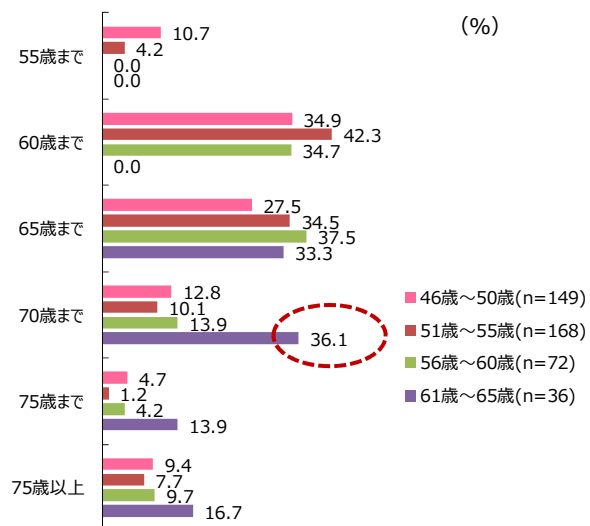
Q 2. 現時点での、あなた自身の公的年金の受給開始時期、
受給予定金額を把握していますか？



Q 3 仕事をしている方に。あなた自身の退職金はいくらになる
か把握していますか？



Q 4 仕事をしている方に。仕事は何歳まで続けようと思っていますか？



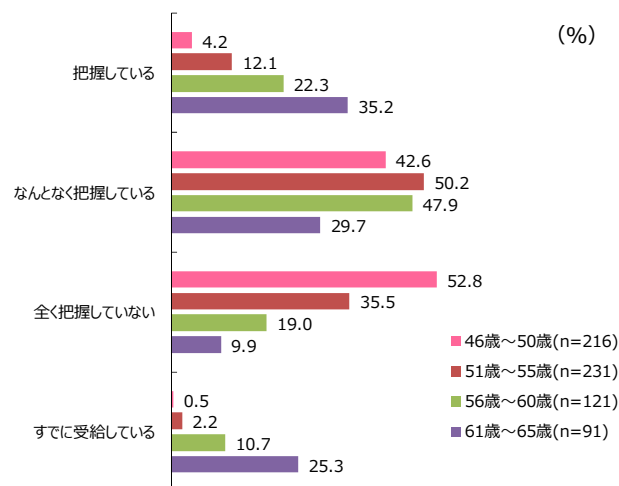
◆自身の公的年金の受給予定金額については、年金定期便のおかげもあり、半数以上が把握している。

◆自身の退職金については、有職者の8割がパート・アルバイト、または自営業のため、退職金がないと回答。

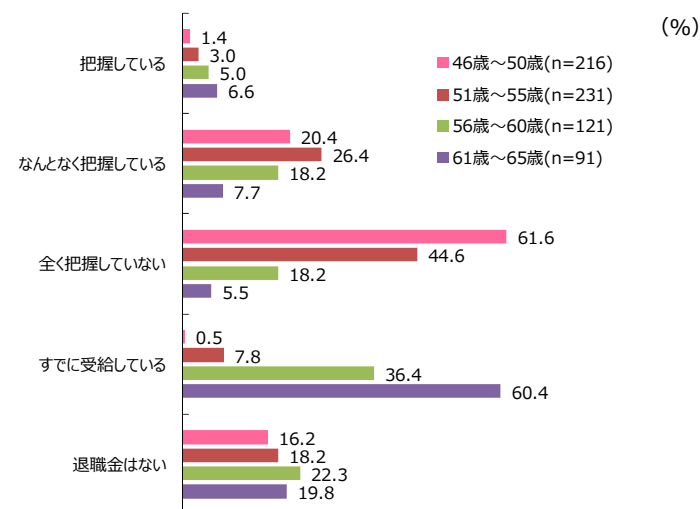
◆何歳まで働くかは、60歳まで、65歳までが3割から4割代だが、60代前半は、70歳まで働きたいが36.1%と、元気いっぱいだ。



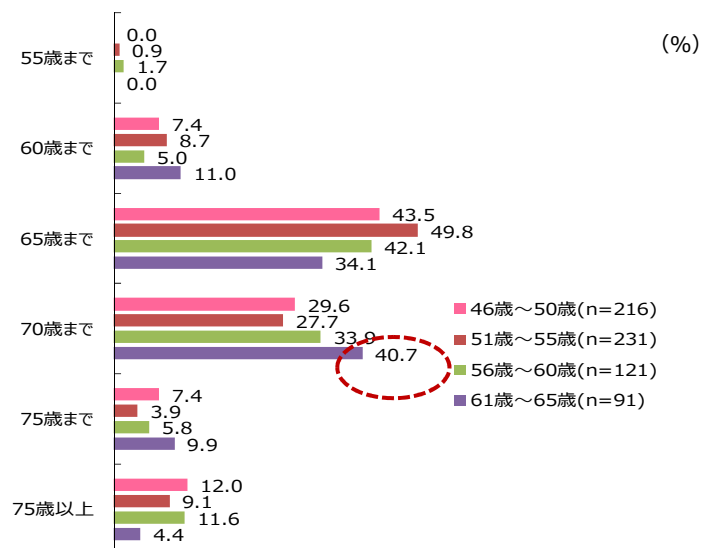
Q 5. 夫がいる方に。現時点での、夫の公的年金の受給開始時期、受給予定金額を把握していますか？



Q 6 夫がいる方に。夫の退職金はいくらになるか把握していますか？



Q 7 夫がいる方に。夫には何歳まで仕事をしてもらいたいと考えていますか？



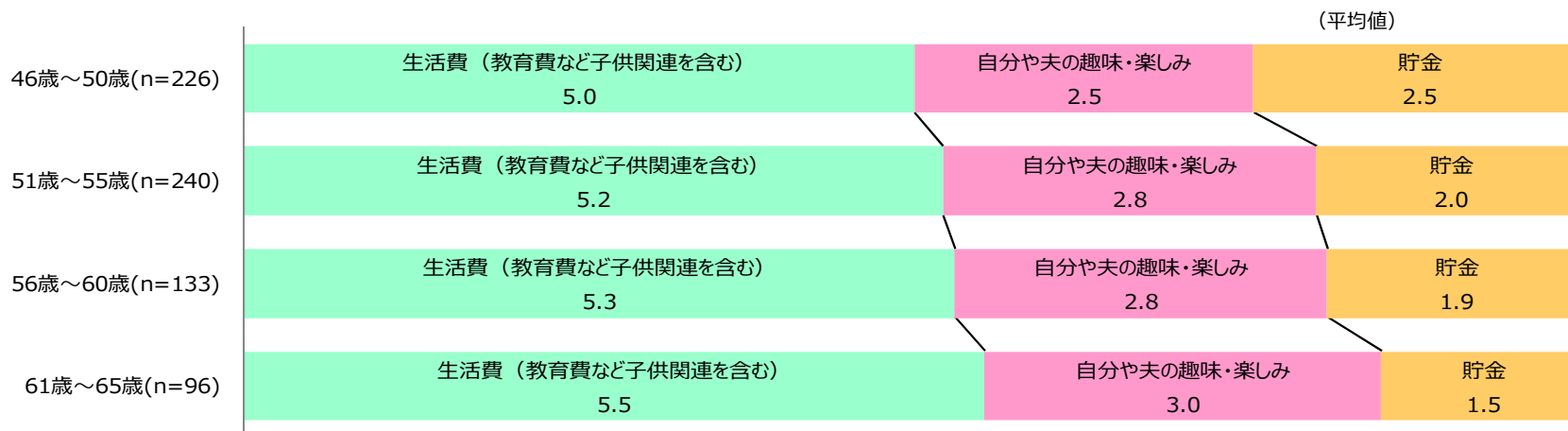
◆ 夫の公的年金については、「なんとなく把握している」が半数前後だが、自身の分に比べると1割程度低くなる。

◆ 夫の退職金について「なんとなく」も含め把握しているのは、50代前半で29.4%、50代後半で23.2%と低め。

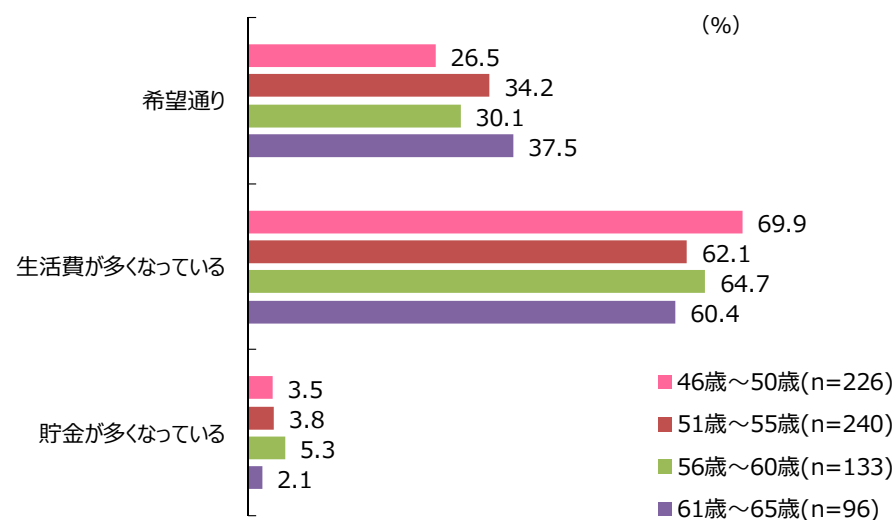
◆ 夫に働き続けてほしい年齢は、65歳までが4割台だが、60代前半（妻）になると、70歳までも4割台。



Q 8 10年後、あなたの家庭の家計全体を10とした時、
「生活費（教育費など子供関連を含む）」「自分や夫の趣味・楽しみ」「貯金」はどのような配分にしたいと思いますか？



Q 8 -1 上記で答えた配分は、実際にはどうなっていると思いますか？

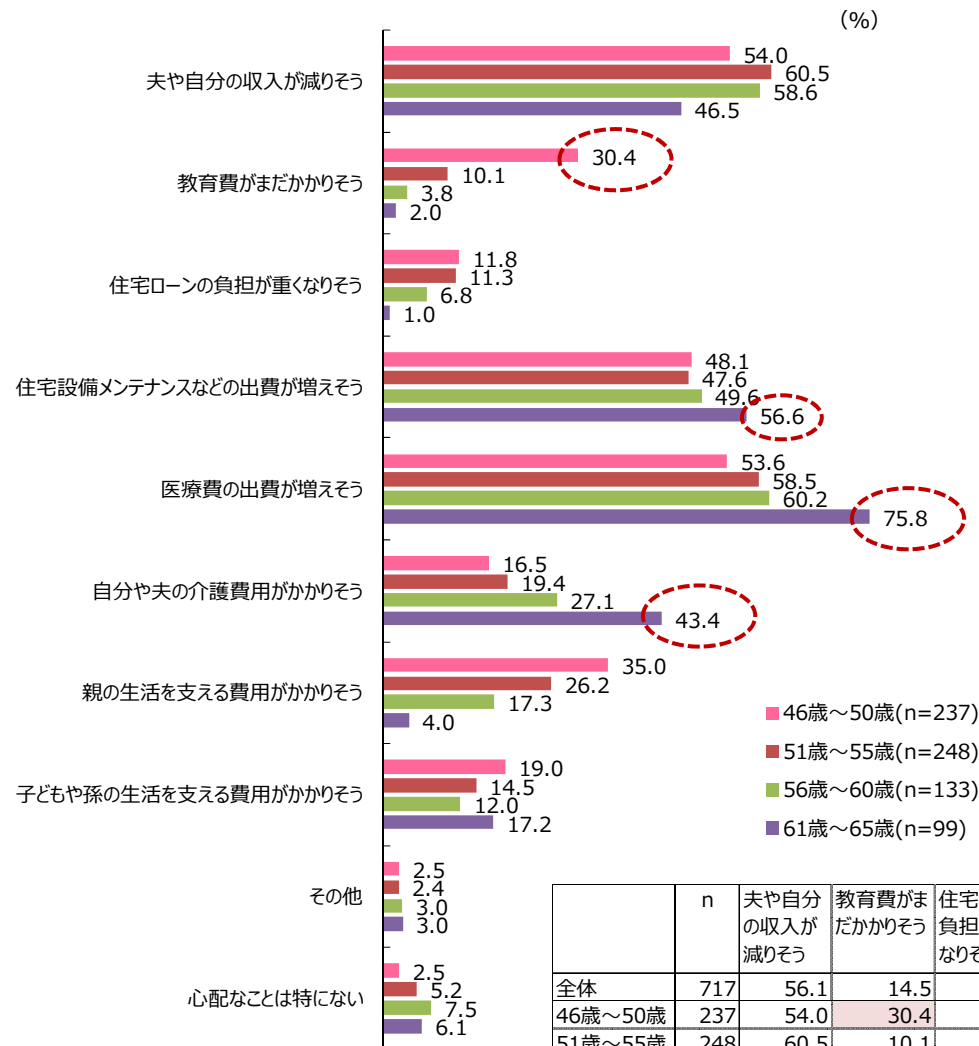


◆10年後の予測では、貯金よりも生活や趣味のウェイトが少しずつ増えてくるのは、60代に入ってから。

◆とはいえ、これはあくまで理想で、実際には生活費に追われそうという予想が総ての年代で6割を超えている。



Q 9 今後10年の家計を考えたとき、心配なことは何ですか？



◆10年後の家計については、9割以上が何かしらの心配を抱えており、その内容は、当然のことながら年代によって特徴が異なる。

40代後半は、収入減、医療費増がトップ2だが、他の世代に比べて、教育費や親の面倒を見ることへの不安も大きい。

50代前半は、収入減が目前に迫ってくることもありトップ。医療費の出費増への不安も5割超。

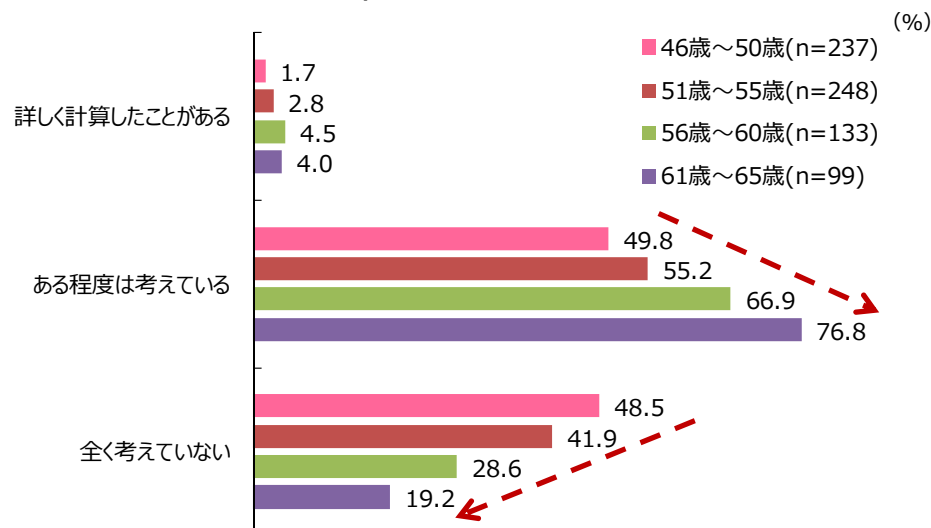
50代後半は同前半との差異は少ないが、自分や夫の介護費用への不安が増え始める世代。

60代前半にとっての不安のトップは医療費の出費増。また住宅設備メンテナンスなどの出費増が6割近いのが他の世代と比較して特徴的。

	n	夫や自分の収入が減りそう	教育費がまだかかりそう	住宅ローンの負担が重くなりそう	住宅設備メンテナンスなど	医療費の出費が増えそう	自分や夫の介護費用がかかりそう	親の生活を支える費用がかかりそう	子どもや孫の生活を支える費用がかかりそう	その他	心配なことは特にない
全体	717	56.1	14.5	9.2	49.4	59.6	23.2	24.4	15.9	2.6	4.9
46歳～50歳	237	54.0	30.4	11.8	48.1	53.6	16.5	35.0	19.0	2.5	2.5
51歳～55歳	248	60.5	10.1	11.3	47.6	58.5	19.4	26.2	14.5	2.4	5.2
56歳～60歳	133	58.6	3.8	6.8	49.6	60.2	27.1	17.3	12.0	3.0	7.5
61歳～65歳	99	46.5	2.0	1.0	56.6	75.8	43.4	4.0	17.2	3.0	6.1



Q10 10年後のあなたの家庭の家計事情（収入予測、支出予測、貯金・資産額予測）について、考えたことはありますか？

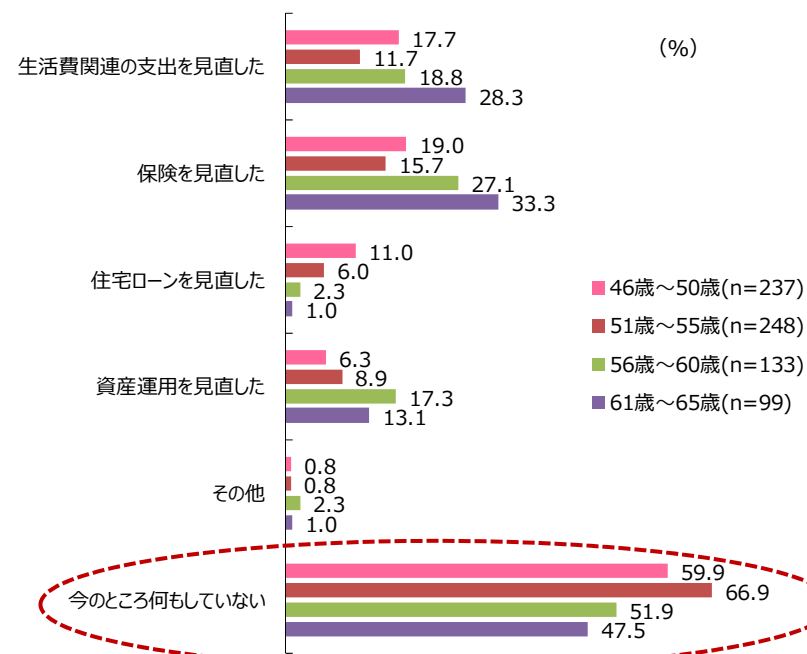


	n	詳しく計算したことがある	ある程度は考えている	全く考えていない
全体	717	2.9	58.6	38.5
46歳～50歳	237	1.7	49.8	48.5
51歳～55歳	248	2.8	55.2	41.9
56歳～60歳	133	4.5	66.9	28.6
61歳～65歳	99	4.0	76.8	19.2

◆10年後の家計については、6割近くが「ある程度は考えている」と回答しているが、「詳しく計算したことがある」は2.9%に留まっている。年代別で見ると、40代後半では「ある程度は考えている」が5割を切っているが、年代があがるとつれ上昇。50代後半から6割台とグッと増加する。

◆将来に向けての家計の見直しは、全体では59.1%が「今のところ何もしていない」。年代があがるとつれ、特に50代後半からは、やや真剣に見直す傾向が見られる。

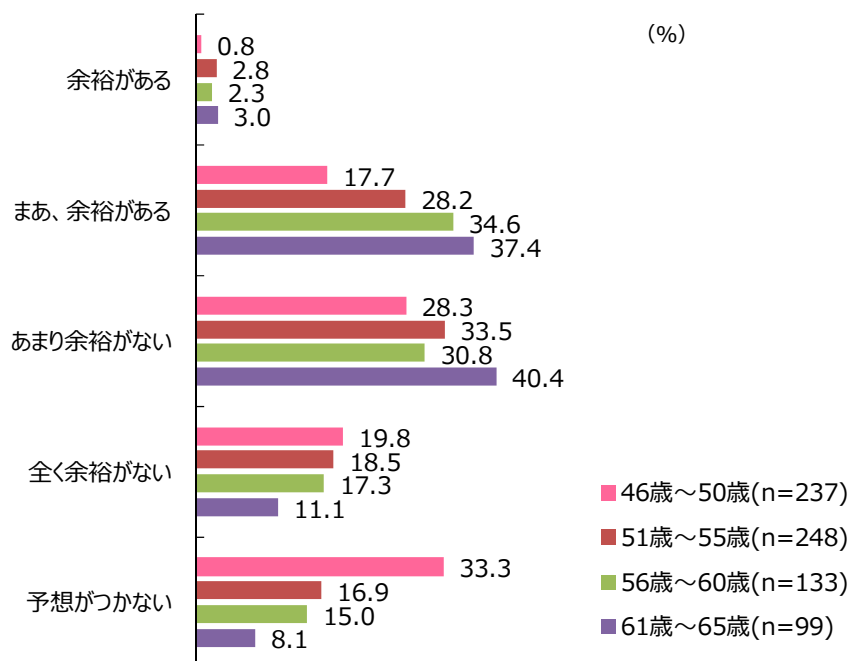
Q11 将来に向けて、家計の見直しを実施していますか？



	n	生活費関連の支出を見直した	保険を見直した	住宅ローンを見直した	資産運用を見直した	その他	今のところ何もしていない
全体	717	17.3	21.3	6.3	10.2	1.1	59.1
46歳～50歳	237	17.7	19.0	11.0	6.3	0.8	59.9
51歳～55歳	248	11.7	15.7	6.0	8.9	0.8	66.9
56歳～60歳	133	18.8	27.1	2.3	17.3	2.3	51.9
61歳～65歳	99	28.3	33.3	1.0	13.1	1.0	47.5

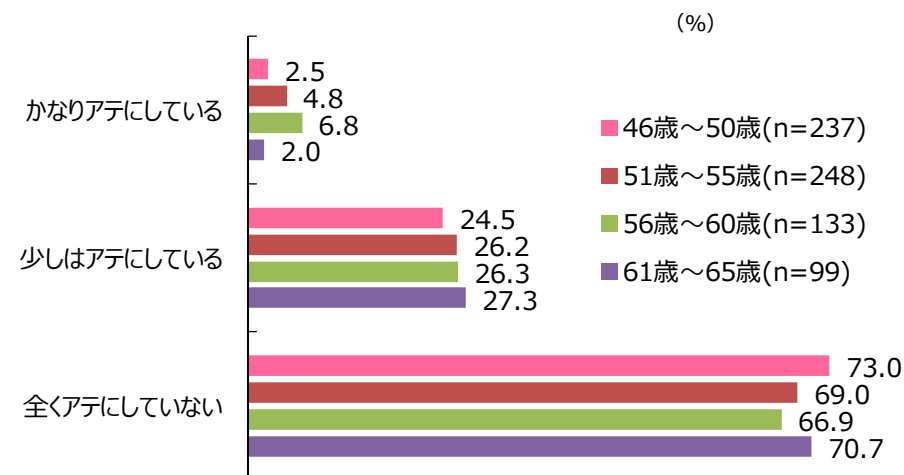


Q12 リタイア後の老後資金はどのような状況ですか？



	n	余裕がある	まあ、余裕がある	あまり余裕がない	全く余裕がない	予想がつかない
全体	717	2.1	27.2	32.2	17.7	20.8
46歳～50歳	237	0.8	17.7	28.3	19.8	33.3
51歳～55歳	248	2.8	28.2	33.5	18.5	16.9
56歳～60歳	133	2.3	34.6	30.8	17.3	15.0
61歳～65歳	99	3.0	37.4	40.4	11.1	8.1

Q13 親の遺産相続をアテにしていますか？



◆老後資金は、40代後半はまだ「予想がつかない」が3割超。現実味を帯びてくる60代前半になると「あまり余裕がない」が4割をしめる。

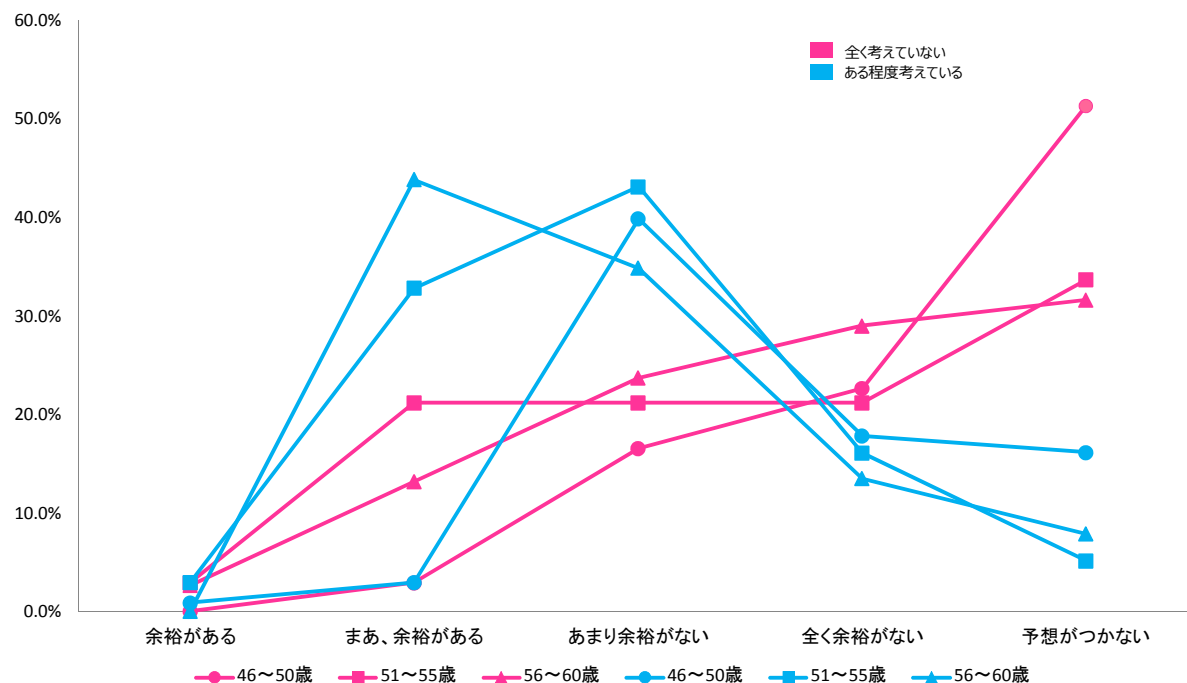
◆親の遺産は少しアテにしているが全年代で2割台。6割～7割は「アテにしていない」と回答しており、世代での違いはほとんど見られない。



◆46歳～60歳までを、10年後の家計事情を「全く考えていない人」と「ある程度考えている人」に分け、リタイア後の資金をどのように予測しているかを比較してみた。

「全く考えていない人」は全般的に「全く余裕がない」「予想がつかない」が多い傾向にあるのに対し、「ある程度考えている人」は「まあ、余裕がある」「あまり余裕がない」が高く、「全く余裕がない」「予想がつかない」は低くなっている。

「全く考えていない」層は、状況が把握できないままに「余裕がない」「予想がつかない」という、漠然とした大きな不安に襲われているのではないだろうか。



◆10年後の家計事情を**全く考えていない**×リタイア後の資金予測

年齢	合計	余裕がある	まあ、余裕がある	あまり余裕がない	全く余裕がない	予想がつかない
46～50歳	115	0	11	19	26	59
	100.0	0.0%	2.9%	16.5%	22.6%	51.3%
51～55歳	104	3	22	22	22	35
	100.0	2.9%	21.2%	21.2%	21.2%	33.7%
56～60歳	38	1	5	9	11	12
	100.0	2.6%	13.2%	23.7%	28.9%	31.6%

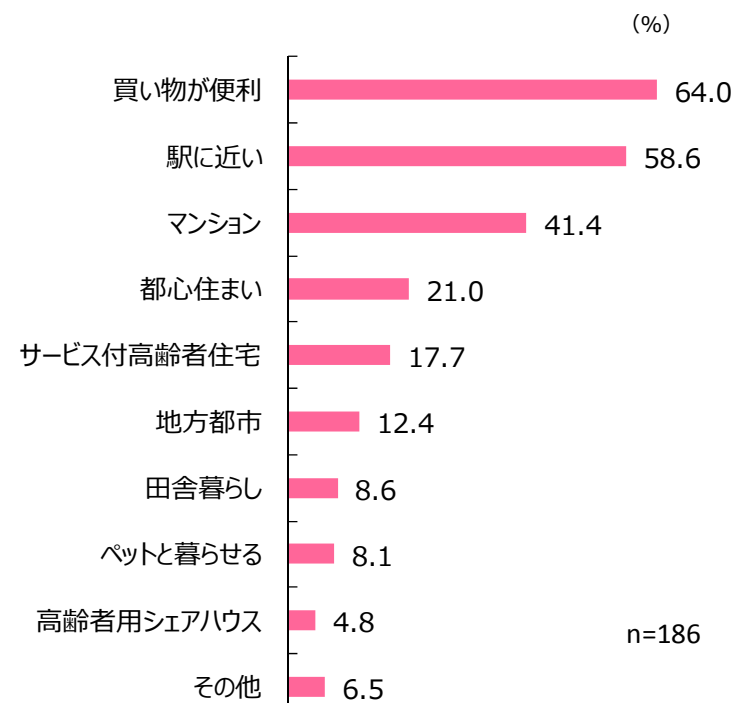
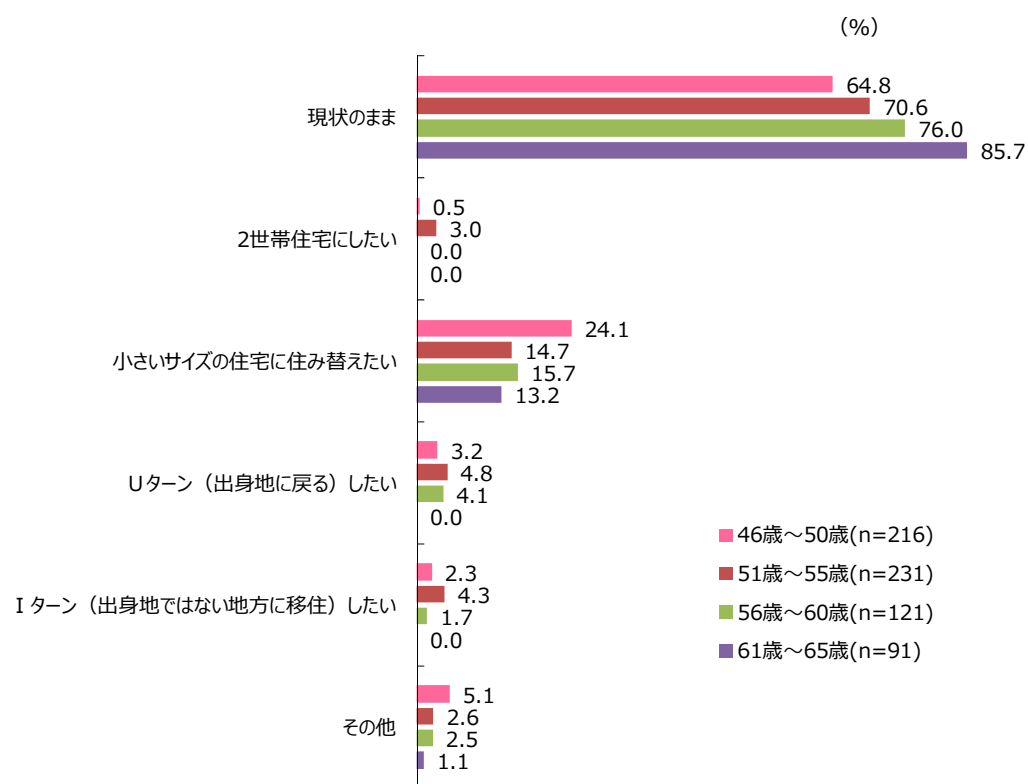
◆10年後の家計事情を**ある程度考えている**×リタイア後の資金予測

年齢	合計	余裕がある	まあ、余裕がある	あまり余裕がない	全く余裕がない	予想がつかない
46～50歳	118	1	30	47	21	19
	100.0	0.8%	2.9%	39.8%	17.8%	16.1%
51～55歳	137	4	45	59	22	7
	100.0	2.9%	32.8%	43.1%	16.1%	5.1%
56～60歳	89	0	39	31	12	7
	100.0	0.0%	43.8%	34.8%	13.5%	7.9%



Q14 夫がリタイアして夫婦二人の生活になったら、住まいはどうしたいと思いますか？

Q14-1 住み替えたい方に伺います。その際条件に考えるのはどんなことですか？

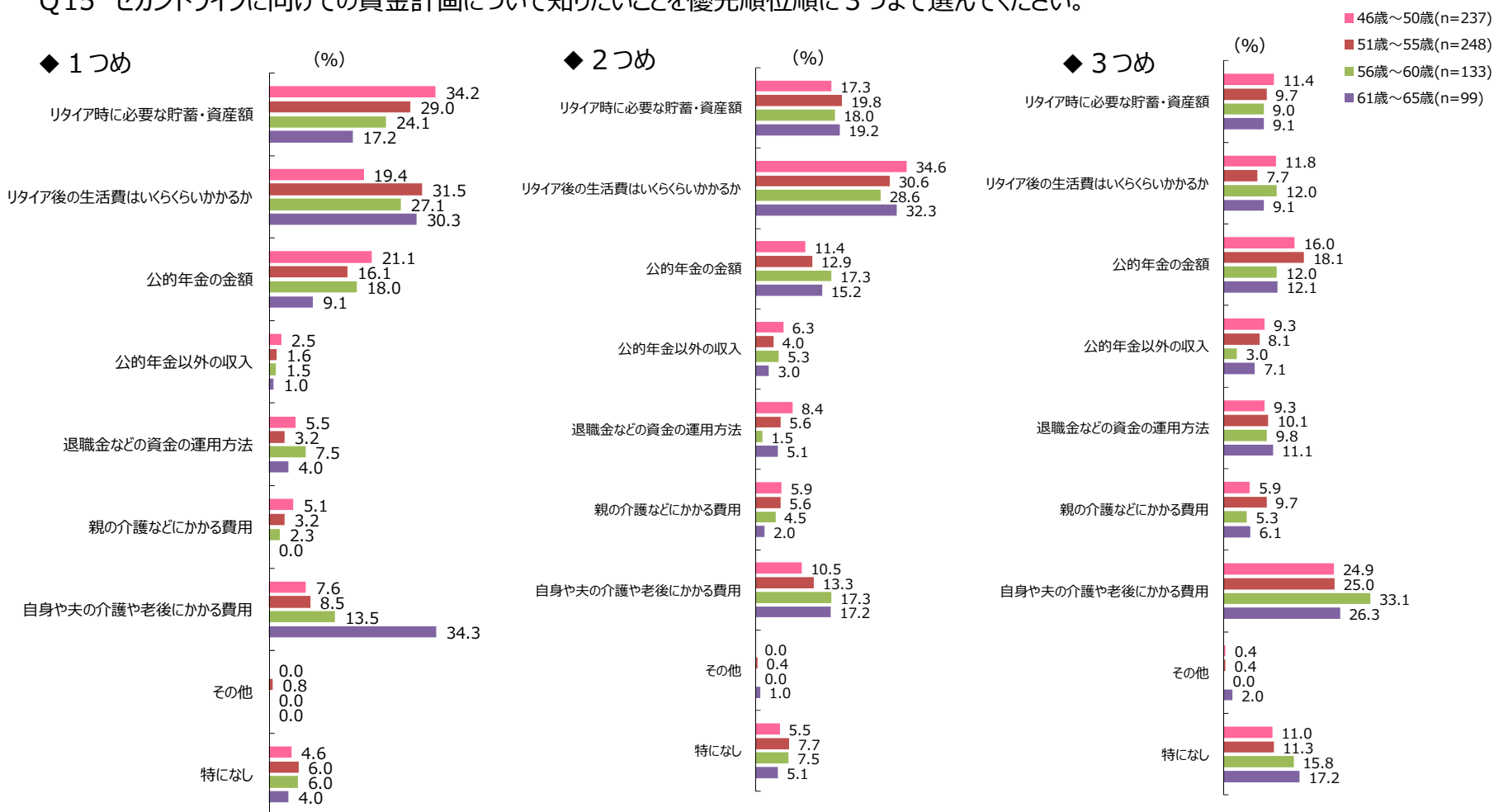


◆リタイア後の住まい方について聞いたところ、全体でも71.8%が「現状のまま」と回答。リタイアが近くなる年代になるにつれ、将来設計が現実的になることもあり、「現状のまま」は増加する

◆住み替えたい人の希望条件は、「買い物が便利」「駅に近い」「マンション」と利便性がトップ3



Q15 セカンドライフに向けての資金計画について知りたいことを優先順位順に3つまで選んでください。

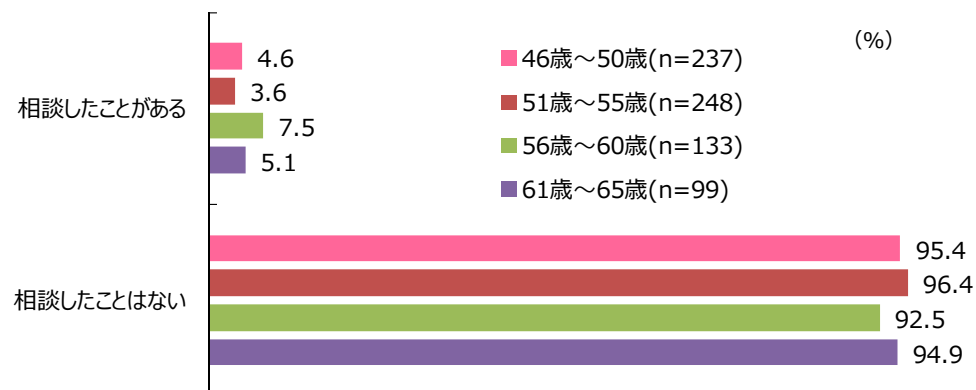


◆セカンドライフの資金計画について知りたいことのトップは、「必要な貯蓄・資産額」「生活費はいくらくらいかかるか」。

◆60代前半になると、「介護や本格的な老後生活にかかる費用」が3分の1を超える。



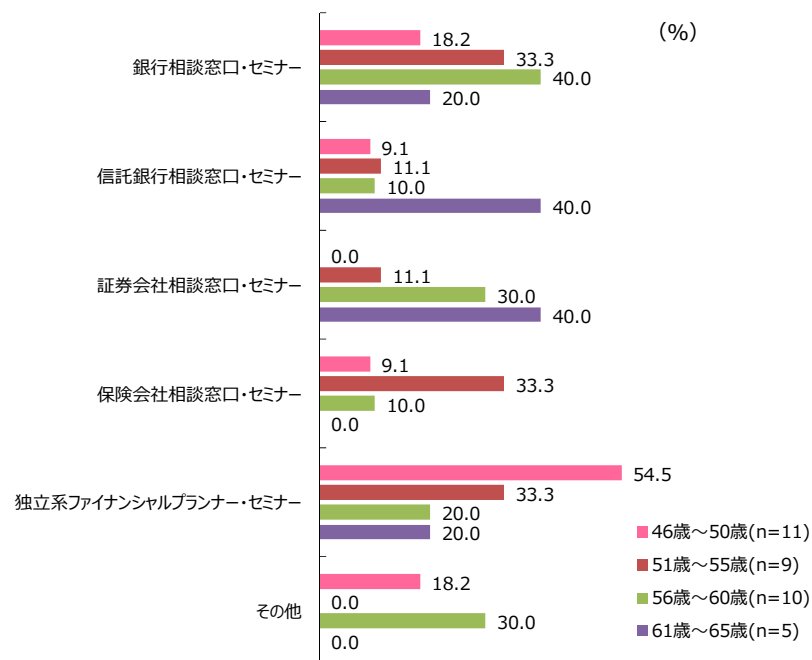
Q16 セカンドライフの資金計画について、専門機関に相談したことはありますか？



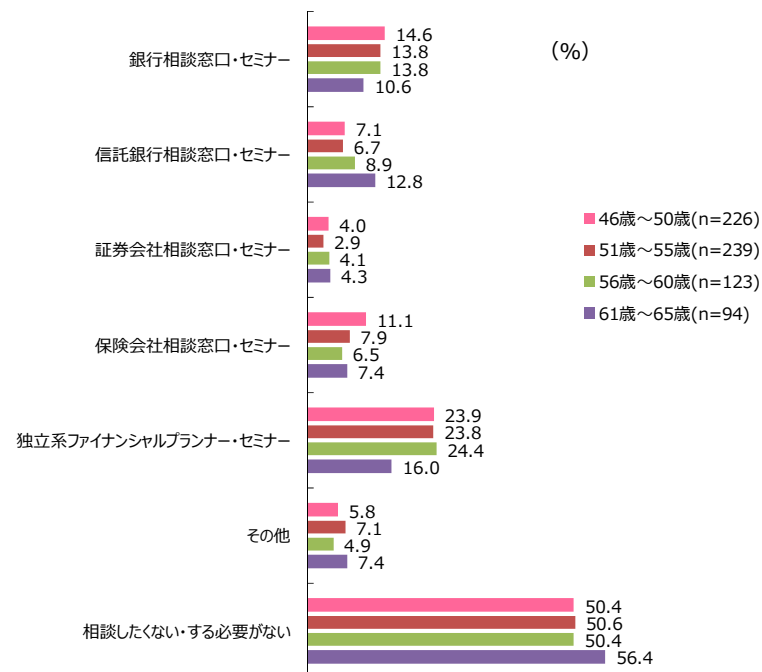
◆セカンドライフの資金計画について、相談したことはないが9割以上。目前に迫ってきている60代前半でも94.9%。

◆相談したことがない人たちの約半数は「相談したくない・する必要がない」としており、相談するなら「独立系ファイナンシャルプランナー・セミナー」が約4分の1。

Q16-1 相談したことがある方に。どこに相談しましたか？



Q16-2 相談したことがない方に。どこかに相談したいと思いますか？





Q17 自分たちの老後の生活はどんなふうに思い描いていますか？ 夢や希望、不安も含めて具体的に書いてください。FA抜粋①

◆思い描く老後生活をフリーアンサーで記述してもらったところ、夢や希望で頻出するキーワードは

①子どもに迷惑をかけたくない ②子ども世帯とはつかず離れずの近さで暮らしたい ③国内、海外を問わず旅行を楽しみたい ④利便性のいい所に住み替えたい

◆一方、不安面では、「健康に過ごせるかどうか」が圧倒的。具体的には「健康に過ごせれば金銭的に問題ないが、大病をしたら資金難に陥りそう」という声が多い。そんな不安対策のためにも、生活習慣・食習慣を見直す、運動をするなど、健康寿命を意識する声も散見される。

年令	働き方	
46	フルタイムワーク	買い物が便利で病院が近くにある、掃除がしやすいくらいの広さのマンションが一戸建て。旅行に行ったり、夫婦で趣味を楽しめるくらいの余裕がほしい。自分たちの分(医療費や生活費)は子供たちに頼らずに貯蓄しておきたい
46	専業主婦	現在の住まいで二人とも元気に過ごせるよう、運動や趣味など積極的に行いたい。
46	パート・アルバイト	都内で高齢者向けのマンションに住みたいのですが、費用がどのくらいかかるのかが気になります。
46	フルタイムワーク	現在のマンションに住み続けたいが管理費などが払えるかどうか不安
46	フルタイムワーク	都心の実家に戻り、猫を飼ってのんびり暮らしたい。
46	専業主婦	現在のマンションは駅に近いので、そのまま住み続ける。時々子供達の家を訪ねたり、夫婦それぞれの趣味を楽しみたい。年に2回くらいは温泉旅行に行きたい。私たち夫婦が病気の際には今かけている保険でまかなえると思うが、親の介護や施設の入居となると資金が不安。
46	パート・アルバイト	今は自分の母と三世代で暮らしているが、子供たちが独立した後もこの家をリフォームしたり住みよい間取りに変えながら、長く住み続けたい。そのうえで、主人とたまに海外旅行に入ったり悠々自適な生活を送りたい。夫婦どちらかが病気になった場合保険に入っているが資金が足りるかが心配。
46	パート・アルバイト	夫が早く(60歳代)にリタイヤするなら、カフェを開業して昼は私がランチ、夜は夫がバーをして、なるべく働いていたい。休みの日はお互い好きなことをして、どちらかがいなくなっても貯蓄以外の生活の糧は準備しておきたい。
46	専業主婦	今住んでいるところで必要ならリフォームをして暮らしたい。子どもが近くにいれば、子育てなどで手伝えることがあれば手伝っていききたい。子どもに迷惑をかけないように夫婦で自立して生きていけるように体調に気を付けて暮らしていきたい。
46	パート・アルバイト	身の丈に合ったコンパクトな生活にサイズダウンしないと、あっという間に老後破産になると思われるので、不安しかありません。お金のかからない趣味を夫婦それぞれが見つけて、時には一緒に、時には別々に、心が楽しく体が健康に、派手ではなく穏やかな日々を毎日過ごせるのなら、それだけで幸せだと思います。
47	専業主婦	死別で突然にお一人さまとなり、環境・老後の生活を変更せざるおえない状況になりました。とりあえずは生活できる資金はありますが、長生きした場合は不安です。女性一人でも相談しやすい所・人がいれば銀行でもセミナーでも行きたい気持ちがあります。
47	専業主婦	現住所近くのマンションに住み替え、元気なうちはちょっとした仕事やボランティアをして、地域と関わって過ごしたい。不安は健康面。病気と長生きし過ぎるのも資金面で不安。
47	自営・自由業	今のマンションで死ぬまで暮らしたい。子供たちも結婚してそれぞれ家庭をもってもらい、迷惑をかけないで死にたい。
47	専業主婦	今の住んでいる家の子供にゆずり、自分たちは都心便利なマンションに移り住む つつましいが、ゆとりのある文化的な生活を送りたい。
47	パート・アルバイト	今の場所に住んで子供が独立したら、子供夫婦が近くに住んでほしいなと思います。
47	フルタイムワーク	徒歩圏内で買い物や医療機関に通える距離の住宅に住んでいきたいです。それぞれ自由に使えるお金で趣味を続けたいです。
47	専業主婦	今のうちに貯められるだけ貯め老後に余裕を持ちたい。出来れば数年に一回でも海外旅行に行きたい。子供が一人なので迷惑をかけないように施設を考えるが資金の不安がある。
47	フルタイムワーク	孫の成長を見守りながらのんびりと旅行等して過ごしたいけれど…子供達が結婚出来るか 孫が産まれるか楽しみでもあり心配。
47	自営・自由業	今のマンションに夫と二人暮らし。近くに娘が結婚して住んでいる。趣味や、年に一度程度の海外旅行に行けるくらいの余裕を持ちたい。貯金と年金で何とかできると思うけど、どちらかが大病になったら資金に不安がある。



Q17 自分たちの老後の生活はどんなふうに思い描いていますか？ 夢や希望、不安も含めて具体的に書いてください。FA抜粋②

年齢	働き方	
47	パート・アルバイト	娘には近くに住んでもらいたい。夫婦や子供一家と国内旅行に年に1～2回行きたい。保険は70過ぎると保障が安くなり、あまりあてにならないので不安。
47	専業主婦	生活習慣に気を付け、運動もし、元気な老人になりたい。子どもや孫と楽しい時間を過ごしたい。
48	パート・アルバイト	医療や公共機関、買い物に便利なところで安心して住みたい。年に数回は旅行に行きたい
48	フルタイムワーク	公営住宅に住んでいるので、このまま住み続けたい。時々温泉旅行に行きたいけど、贅沢はしないつもり。国民年金で、年金額が少ないので、高齢になっても働き続けたいです。働けなくなると、お金が足りなくなったらどうしようという不安はずっとあります。
48	パート・アルバイト	駅や買い物、病院が近い等、利便性の良いマンションに住み、たまに旅行に行けたら良いと思います。健康に過ごせたら金銭的に問題は無いと思うけど、どちらかが大病すると、たちまち資金難になるのではと不安があります。
48	パート・アルバイト	便利の良い場所のマンションに住んで夫婦で旅行などを楽しみたい
48	パート・アルバイト	首都圏のマンションに住み行きたい時に旅行に行き夫婦仲良く過ごす。
48	パート・アルバイト	水や空気の美味しい地で暮らす。子供の世話にならなくてよいように、老人向けサービス付きマンションなどに住む。長期の旅行やスポーツなども楽しみたい。ただし、老後資金としていくら必要かわからず不安。
49	パート・アルバイト	70歳くらいになったら、便利なマンションに住み替え、30分くらいのところに孫がいて、面倒を見るのが楽しみ。ジムに通っている。がん保険に入っていないので、心配
49	パート・アルバイト	知り合いの多い今の地域で暮らしたい。贅沢をするつもりはないし、できるだけ長く働きたいと思っている。普通に楽しめる程度の老後資金は蓄えておきたいが不安。これから子どもの教育費が掛かる時期で、今は老後のための貯蓄まではとても手が回っていない。
49	パート・アルバイト	ペットと入居できる老人ホームに移り住み定期的に旅行に出かける
49	パート・アルバイト	住む場所は今のままで、子供たちと会える距離にいたい。国内旅行に行けるくらいの余裕がほしい
49	専業主婦	子供たちは独立し、夫と愛犬とゆったりとした生活をしている。年に1度程度、国内旅行に行ったり楽しむ生活で、孫も時々遊びに来てくれる。貯金と年金でなんとかつつましく暮らしている。
49	パート・アルバイト	現在の家に住み、時々娘夫婦と一緒に食事をしたりする。年に1度くらいは国内旅行に行ければと思う。自分たち夫婦と親にかかる費用が不安。
49	専業主婦	老後はのんびり趣味や旅行を楽しめる程度の余裕ある生活がしたいと思っている。また、子供たちの生活を壊したくないので、自分達のことは子供に頼らず、いざという時は施設にお世話になれるだけの貯金は必要だと思っている。そういう施設に入る費用とかが分からないので、どれだけの貯金を今からしておくべきなのか知りたい。
49	専業主婦	可能な限り、自宅で生活し、大変になったら、施設に入りたい。子供には迷惑をかけたくない。
49	専業主婦	子供は比較的近くに住んでもらい、年に数回国内旅行に行けるといい。年金はあまりあてにならないので、今の生活を維持するためには、パートで少しでもおこづかい稼ぎをしていたい。周りの役に立つような仕事、またはボランティアをしていたい
49	パート・アルバイト	健康に留意し、できるだけ子どもの世話にならず、住み替えも視野に入れて暮らしたい。手持ちのお金で細々と節約しながら暮らしたい。
49	パート・アルバイト	車をキャンピングカーに変えて旅をしたい。
50	パート・アルバイト	現在の住環境が便利なので、生活の質は落としたい。しかし、老後の資金に余裕がないのはわかっているので、夫婦二人になれば、少し狭い住宅に移るのはやむを得ないと思っている。贅沢は出来ないし、子供たちに経済的な支援は出来ないが、孫を見てやるなどの精神的支援はしていけたら、と願う。
50	パート・アルバイト	年金が実際どれほどになるのか現時点ではあてにならないので、改善でもされない限り何も思い描けない。破たんしないかどうか不安。
50	パート・アルバイト	駅近くに住み、子供たちと行き来できるところで家族を感じる範囲で暮らしたい。しかしながら、現在貯金がほとんどなく、これからの10年に貯金を増やしたい。
50	専業主婦	サ高住を考えている。現在の地域にできれば住み続けたい。地域と関わり合いを持てるようボランティア活動などに積極的に参加していきたい。
50	専業主婦	今の住まいで暮らし、子どもたちの家を行き来したりする。年に一回は旅行したい。ただ、夫の一人暮らしの母や自分たちの健康状態に不安がある。
50	パート・アルバイト	今のマンションに住むか、実家に帰るか迷っていると思う。孫におこづかいをあげられる生活がしたい。主人と家にいるよりは、週2、3回働きたい。年金がきちんともらえるのかどうか不安。



Q17 自分たちの老後の生活はどんなふうに思い描いていますか？ 夢や希望、不安も含めて具体的に書いてください。FA抜粋③

年齢	働き方	
50	専業主婦	子供に迷惑をかけず、ほどほどの距離を置いて交流したい。夫婦間では、趣味も違うので、お互い干渉せず自由にしが、老後の資金は教育費で消えているので、アルバイトをしながら、質素に暮らしていくつもり。
50	パート・アルバイト	お互い、健康でいられるように体を動かし、食事などに気をつけたい。健康でいることができれば、旅行にも行けるし、楽しみも増えます。助けを受けず、自分の身の回りのことはやりたい。
50	パート・アルバイト	ある程度の夫婦お互いの趣味ができて、生活の質があまり落ちない様にしたいですが、退職後の介護等老後の不安は大きいです。
51	自営・自由業	今すんでいる家を修繕しながら、友達と旅行に行ったり、ランチしたり、スポーツクラブへ行ったり、したい。子どもに迷惑がかからないよう、施設に入る費用も要るけど、貯める余裕がない。
51	専業主婦	出来れば分譲マンションに住みたい。駅から近く交通の便が良いところ。孫はまったくほしいと思っていないので、子どもたちとできるだけ長く暮らしたい。そのころには教育費でアップアップすることはなくなっている、自分の楽しみのために働いたお金を使いたい。
51	フルタイムワーク	現在と同じ程度の生活水準で暮らしたい。趣味を楽しみ健康でいられれば良いと思う。退職金や貯金はあっても、高齢化社会なので貯金は手をつけなくていいと思う。海外旅行などお金のかかることは控えないといけないのかなと思う。
51	専業主婦	今のマンションで間取り変更して、個室を作りたい。2人共通の趣味が無いので今から少しずつ見つけていきたい。すでに医療費が多いので十年後はますますかかっているかも。
51	パート・アルバイト	現在と同じ住居に住み続けていると思うが、住まいの老朽化に悩まされていそう。生活は自由気ままに互いに好きなことをして、日常は過ごし、年に何回かは旅行に出かけたりしている。貯金と年金で何とかかなると思うけど、どちらかが大病になったら資金に不安がある。
51	パート・アルバイト	子供が近くに家を建てるので時々来てくれたら良いですね！二人共自分の趣味やボランティアをやっていたら良いですね！しかし貯金がほとんど無いのが心配！
51	パート・アルバイト	医療、買い物すぐ横にあるマンションに住み替えて、歩いて自分で生活して、趣味のサークルとかに積極的に出掛け、元気なうちに、夫婦、子供達と海外旅行にも出掛けたいです！老後は出来るだけ健康管理に気を使い子供達に迷惑をかけたくないです??
51	パート・アルバイト	まずは、買い物と病院に近くないと自分で行くことができない。子供には、手間をかけたくなないので便利な場所に住みたい。
51	パート・アルバイト	子供が独立したら、実家に戻る。親の今後心配だし、故郷を愛しているので。夫とは事実上婚姻関係を保っているが、年金や退職金などの片が付いたら、完全別居をする予定。
52	専業主婦	夫婦二人だけになったら、食費は節約したい。お互いの趣味を楽しむ余裕は欲しい。旅行は国内に年に1度くらいは行けたら嬉しい。貯金と年金で何とかかなるかなとは思うけど、入院とかになったら資金が足りるか心配。
52	専業主婦	今の賃貸住宅は買い物、駅がすごく便利なのでその中にある高齢者用の部屋に移り住む。たまに孫と遊ぶ。たまに旅行。趣味もしたい。年金だけでは不安だし、社会と関わりたいので短時間の仕事をする。畑を借りて野菜を作る。貯金がないので病気になったら不安。
52	パート・アルバイト	今の家を売って、駅近くのマンションに住み替えたい。できれば、同じマンション内に子供たちの家族も住んでいて、孫を預かったり、スーパの覚めない距離で楽しく暮らしたい。しかし、まだまだ現実味を感じておらず、貯蓄や老後の生活費についての具体的金額も把握できていない。
53	専業主婦	現在の家にできるだけ住み続けたい。夫婦2人が健康であれば全く心配なことではないが、どちらかが介護が必要になると不安だし、生活は一変すると思っている。だからと言ってあらかじめ準備などしておらず、どうしてよいかもわからない。
53	パート・アルバイト	資金繰りが、全く想像つかない。まだ・・・先のことと思って、真剣に話し合ったり、考えたりしていない。多少、避けてきている感じもある。一番心配なのは、自分の健康と、親の介護。親を見送らないと、本当の自分たちの老後は、始まらないのかもしれない。
53	専業主婦	退職までに住宅ローンは終わるが、退職金がどのくらい出るのかが全くわからず、将来が不安である。子供たちはいずれ独立すると思うが・・・なるべく子供たちに面倒にならず、健康でいて医療費をおさえて、生活費に回したいと思う。もちろん趣味や旅行にと余裕が欲しいが、今の段階では何とも言えず不安である
53	パート・アルバイト	夫婦どちらかが介護が必要になったら、すぐに2人で都内で医療に特化した施設に入りたい。一人息子には絶対に迷惑をかけない様に。それにしても資金面で大いに不安があるが、節約をしていきたいと思う。
53	専業主婦	子供たちに隣に住んでもらいたい。孫の面倒をみて、娘には仕事を続けてもらいたい。
53	パート・アルバイト	自分も夫も少しだけアルバイトをして、社会との接点を持ち続けたい。たまに子供や孫に会い、たまに旅行に行くことを楽しみにする。病気にならないように体を動かしたい。
53	専業主婦	贅沢な暮らしは、考えていないが、年に2回くらいの、国内旅行に行けるくらいの生活。健康に自信がないので、今から不安。リタイア後、どんな暮らしぶりになるか、予想がつかない。夫婦二人で、健康に暮らしたい。
54	パート・アルバイト	子供と近くに住みたいが、出来ればお互い独立した住宅に住んで、交流だけは密にしたい。フルタイムではなく、小遣い分くらいは、アルバイトやパートで体が動く間は、夫に仕事をし続けてほしい。月に一度は旅行に気軽に余裕のある生活をしたい。
54	専業主婦	駅近のマンションに住み替えを考えてます。子供は1人娘ですが、いずれは夫婦2人になると思いますので、夫婦はそれぞれ自由にやりたい事ができるように、今から定年後の事を真剣に考えていきたい。
54	パート・アルバイト	子供の近くに住んで子供には面倒をかけない生活を送りたい



Q17 自分たちの老後の生活はどんなふうに思い描いていますか？ 夢や希望、不安も含めて具体的に書いてください。FA抜粋④

年齢	働き方	
55	専業主婦	今の家に住み続け、時々子供達が遊びに来る。例えば夏は北海道、冬は沖縄等、季節に合わせて国内で長期滞在を楽しみたい。医療保険と貯金で医療費はある程度賄えると思うが、介護に関する費用は未知数。
55	専業主婦	体が元気なうちに、旅行やドライブ、趣味などに動き回りたいが、高齢化社会を考えると、親の介護などに振り回されそう。今の住宅をコンパクトに立て替えて、車も最後の買い換えをしたい。そうなるとうんとお金が必要。このまま住み続けるならリフォームの必要もあるし、どうするか判断の時期が問題となる。物を整理して減らし、掃除のしやすい暮らしがしたい。子供は、あてにたくない。
55	専業主婦	地方都市で、交通や買い物、病院などの日常生活に便利なマンションに住んで、夫婦で温泉などの旅行を楽しみたい。でも、親の介護や自分たちの健康次第で生活は大きく崩れるので資金面・体力面で不安は大きい。
55	専業主婦	親の介護等の時間が増えると思うなるべく夫婦それぞれ趣味を持ち過ごしたい。健康で元気なうちに海外や国内旅行を楽しみたい。
55	パート・アルバイト	夫の退職金でローンを完済して出来れば今の戸建てを売却して駅近のマンションが欲しい
56	パート・アルバイト	1年に一度の海外旅行または、国内旅行を楽しみたい。住まいは今のままの分譲マンションで住み続けたい。子供が、まだ大学生なので、ちゃんとした会社に就職、結婚して独立して生活して欲しいと願っている。施設に入っている母のことも心配。夫婦二人の老後の生活ももうすぐなのに、自分たちのことは中々考えられないでいる。
56	専業主婦	老後もあまり生活の質を落とさず生活したいが公的な年金は充分でないで自分でできるだけ用意しないといけないのはわかっているがまだ子供のことにお金がかかり今はなにもできないのが不安です
56	パート・アルバイト	現在の住居は便利な場所なのでそのまま住み続けたいが、築年数の古いマンションなため建て替えの問題もある。年齢的に疾病が増えていくと思うので介護が必要になったり、施設に入ることも考えておく必要がある。以上の二点から出来るだけ貯蓄を増やしておきたいと思っている。
56	専業主婦	息子にかかる相続税が心配で、自分たちの余裕などない
56	専業主婦	首都圏近郊の町の駅に近い賃貸団地に住み、近くの畑を借りて家庭菜園を楽しむ。年に一度の旅行に行けるくらいの余裕を持ちたい。年金だけの収入では不安があるので、何か仕事をしているかもしれない。
56	パート・アルバイト	首都圏近郊で、駅地価のマンションに住み替えたい。病気のことはかなり心配である。夫が自営業なので今後の収入が心配。海外旅行に行きたいという希望もある。退職後の資金運用も今後考えていきたい。
56	パート・アルバイト	現在のマンションを住みやすくリフォームして住み続けたい。子どもに迷惑をかけないように、健康に注意していきたい。国内外の旅行を楽しみたい。僅かでも子どもや孫に残せる財産を持ちたいが、夫婦のどちらかが大病になった場合、どれ程の金額がかかるのか不安である。
57	専業主婦	今の家にそのまま住み続ける。時々子供たちが訪ねて来たり、こちらから尋ねたりしたい。年に一度くらい旅行(国内)にいきたいと思います。私は医療保険(主人の保険の家族特約はあり)に入っていないので、不安があります。大病をしたら金銭的に不安です。
57	フルタイムワーク	家はここ10年以内に老後に備えたりリフォームの予定。年金が減らされなければ良いがだんだん減らされそうで不安。
57	パート・アルバイト	できれば、生活に便利な場所のマンションに住み替えて、夫婦一緒に、または、それぞれ、好きなことをしたりできるようになりたい。そのために、どのくらいの貯金が必要かよくわからないが、今のままでは余裕がないと思う。
57	フルタイムワーク	都心もしくは近郊の交通の便の良い駅そばに住みたい。マンションタイプの介護付きのホームがあれば探し自分たちでなるべくできるうちは自立していきたい
58	専業主婦	子供に負担をかけない事を一番考えています。家の中のいらない物の整理し県外に就職している息子は帰って来ないと思うので将来は自宅を売却し立派な老人ホームに入ろうかと...ホームに入るまで夫婦元氣な間、色々な所へ旅行したいですね。
58	パート・アルバイト	健康で過ごしたい。子供たちに面倒掛けずに過ごしたい。
58	パート・アルバイト	今住んでいる家で、ずっと暮らしたい。あまりお金のかからないようにして、趣味を楽しみたい。子どもの家庭とはつかず離れず程度の付き合いで良いと思う。
58	パート・アルバイト	現在の住まいをリフォームするか、子供に迷惑をかけないために老人ホームに入るか迷い中。それぞれいくら必要なのか計算しなければと思っている。
58	専業主婦	なるべく今の家に住みたいと思っています。環境もいいので。また健康でいられるよう気をつけていきたいです。一人なので、介護や医療のことを考えて行かないといけないあと漠然と思っています。
58	専業主婦	現在の戸建てに住み続け、近くに住む子供たち家族がたまに遊びに来る。そして、夫婦で年に1回の海外旅行、温泉旅行は、2か月に一度。自分たちの体が弱ってきたら、介護付き有料老人ホームに二人で入る。
58	自営・自由業	老後はのんびり旅行や趣味をとっていますが、実際物価の上昇や高齢になってからの医療費が高くなるのではないかと、年金だけで生活ができるのかは不安がある。
59	パート・アルバイト	働ける間は主人に働いてもらい、旅行にも行きたい。健康に気をつけて過ごしていきたいと思っています。
60	専業主婦	すでに老後を暮らしているが、ほんとうにこれからたいへんだとおもう。夢も希望もない。年金は減るばかりだし物価は上がっていくし、政府は何を考えているのだろうと思う。東京オリンピックをして何の得になるのだろう景気がますます悪くなり、もっとオリンピックのお金で未来にできることはたくさんあるのに。人口を増やさなければどうしようもないと思う。



Q17 自分たちの老後の生活はどんなふうに思い描いていますか？ 夢や希望、不安も含めて具体的に書いてください。FA抜粋⑤

年齢	働き方	
61	専業主婦	健康でさえあればが一番ですが・・・現状のマンションに住み続けられると思うが、将来設備などリフォームにどのくらいかかるかなど不安。夫婦での温泉旅行に行く、趣味を楽しむなどしたいが、余裕資金があるかどうか不安。
61	パート・アルバイト	現在は持病もなく健康なので、医療費の支出がほとんどないので趣味や旅行にいけるくらいの余裕はある。しかし、これから収入が年金だけになったときにどちらかが病気になったり、介護が必要になったときに貯金と合わせて足りるかどうか心配。
61	パート・アルバイト	これからの若い方達の負担がどのくらい増えて行くのか、とても気になることです。子ども達が、自立して自分たちの生活を守って行ってくれる事が、一番と思います。自分たちの老後は、ある中で何とかやりくりして行ければと思います。
61	パート・アルバイト	今の家が広すぎるので、同居する子供家族がいなければ処分したい。ただ、処分するだけの体力があるかどうか不安。なだけ家財道具も減らして、こじんまりと暮らしたい。夫婦ともにあまり趣味がないので、老後の二人の生きがいを見つけなければと思っている。
61	パート・アルバイト	現在の住まいでは、庭や植木などの手入れに追われ、大変><。老後はマンションなどに住んで、そうした問題から逃げ出したい。子供たちからそれほど遠くない場所に第二の住処が見つければ幸いです。経済的には貯金と年金でどうにかなるのかな～と、ちょっと不安かも・・・健康で過ごせればいいかなと思います。
61	パート・アルバイト	子供が結婚したら、子供達の近くに住み、好きな仕事を続けていたい。時間と収入に余裕があれば、旅行もしたい。しかし、今は、元気ですが、資金と病気については、不安です。
62	パート・アルバイト	年金と貯金で子供達にお金の迷惑を掛けたくない様に慎ましやかな生活で良いと思う。出来ればピンピンコロリを願うため、体力維持と豊かな食生活に家庭菜園を続けて行きたい。
62	専業主婦	いつまでも健康でいられるように、生活習慣を再度見直したい。出来るだけ、ナチュラルに暮らしたい。
62	専業主婦	長生きの時代なので、老後の家の修理やその他の大きな買い物に不安がある
62	専業主婦	一戸建てに住んでいますが 10年後に このままの状態に住み続けられるのか 段差をなくすなどのリフォームがどの程度必要なのか 不安です。
63	専業主婦	出来れば今の住宅に住みたいと思っていますが古くなってきたのでリフォーム費用が掛かるのが心配です。後は健康に恵まれ好きなことをして近くに住む孫の成長を楽しみに生活できればと思っていますが、思うようにいかないのが人生かなとも・・・
63	パート・アルバイト	今の住まいにできるだけ住み、不都合があれば施設に入る 時々、娘たちと外食や旅行がしたい 年金と預貯金でなんとかなると思っている 生命保険、ガン保険にも複数、入っているので大丈夫だと思う
63	パート・アルバイト	今のマンションを売り、駅や病院・買い物などに便利なマンションに住み替えて、たまには旅行や買い物などに行けるような生活をしたい。
63	パート・アルバイト	思った以上に資金に余裕が無いような気がしています。すぐにセカンドライフにはいるので、旅行に行ったり趣味を楽しんだりしたいのですが、まずは健康でいなくと思っています。
63	専業主婦	親の老後にかかる介護費用を見ていると、自分らの老後にも不安になります。これから年金は下がり、物価が上がっていけばますます資金繰りを考えて行かなければならないと思います。貯めるのは大変だけれど、出ていくのはあつという間。資産も高金利の時代と違い運用が難しいと思います。昔は利息である程度 資産を減らさずに楽しめたのに残念です。
65	パート・アルバイト	体が動くうちは、今の住まいに居住。年金額は生活費の半分もないので、動けるうちはどんな仕事でもやって、貯蓄を1円でも多く貯めることが今の目標。
65	専業主婦	二人が元気なうちに旅行をしたいと思っています。どちらかが病気になったらどのくらいの費用がかかるのか知りたいです。